

# 病院図書室の目録業務について の考察

～NACISIS-CAT図書書誌データ作成件数を通して～

国立精神・神経医療研究センター図書館  
下山 朋幸

# 研究の背景と目的

---

- 目録業務

※ここでは、書誌のメタデータを記録・作成する業務を指す。

コピーカタログが主流の現在

- 公共図書館、学校図書館→行われていない。
- 大学図書館→今でも行われている。

では、病院図書室では...?

# 先行研究

---

- 医中誌Webにて、「病院図書室」AND「目録」で検索  
→37件ヒット(2023.6.8時点)

但し、ほとんどが自館の所蔵目録、あるいは文献複写(ILL)を目的とした所蔵目録のネットワークについての論文。

書誌データ記録の作成に関する論稿はほとんど見られない。  
(解説は2件あり)

# NACISIS-CAT (目録情報所在サービス)

---

- 国立情報学研究所が提供する、我が国で唯一の分担共同入力方式による目録システム(参加機関が書誌データを作成し、そのデータを他の参加館が共有する)
- 全国ほぼ全ての大学図書館の他、病院図書室も一部参加
- 図書書誌データの作成件数は、毎年参加館別に公表されている

<https://contents.nii.ac.jp/catill/stats/cat/database/2022/c crtfa>

→書誌データ作成数を分析することで、病院図書室における 目録業務の実情を調査

# 参加機関数

---

- NACSIS-CAT全参加機関(1341館)の内
    1. 機関名に「病院」の入る全69館から、「大学」を合わせて含まれる8館を除いた61館
    2. 名称に「病院」は含まれないが、病院を有することが確認できた計26館
    3. 病院を有していないが、医学研究を行う機関や医療情報を専門に扱う機関 11館
- 合計 98館

# 書誌データ作成数

---

- これまでに図書書誌データを作成したことがある館 34館
- 2022年度に作成した館 7館。  
(毎年5～10館程度で推移)
- 書誌データ作成件数 2022年度 305件。 上位1・2  
位で大部分を占める。

# 作成館数

---

- NACSIS-CAT参加館のうち、図書書誌の所蔵を行っていない館が45館。

100件以下の館が他に22館。

→そもそも図書書誌データを作成する機会の無い病院図書室が過半数。(雑誌書誌データについては今回対象外)

- 図書書誌を所蔵登録している館に限れば、半数弱の館が目録作成を行なっている。

# 考察

---

- 病院図書室における目録業務は、資料構成によって 左右される。
- 図書書誌の所蔵登録を行っていない館が多数あるため、サンプル数が少ない。
- 雑誌書誌データについては機関ごとの作成数が一定数無いと公表されないため、今後の更なる調査が必要。